事例No.	3118
公表年度	R6
団体の属性	町村
団体名	北海道当別町

事例区分	DX

タグ	・AI ・組織改革

事例種類	事業効率化

事例内容・タイトル

ボトムアップによる迅速な導入検討・生成AI利用促進の新たな取組

出典

自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ（第2回）④

本格導入 07

主な活用事例 文章生成・業務支援

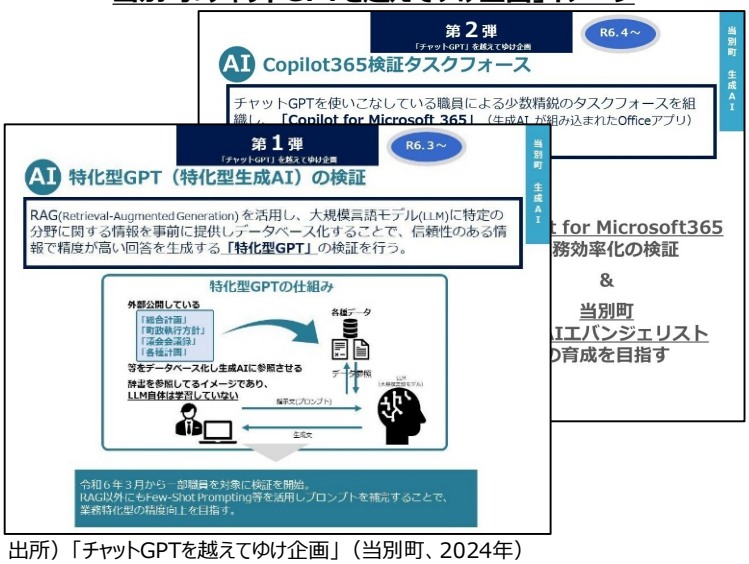
ボトムアップによる迅速な導入検討・生成AI利用促進の新たな取組（当別町）

事例のポイント

- ChatGPT公開から約１か月後、職員が主体となりボトムアップで導入検討を迅速に開始した。
- 実証中に「職員説明会」・「利活用研修会」・「週刊マガジン創刊」・「プロンプト共有」など、職員の機運醸成施策に取組んでいる。
- さらなる生成AI活用の新たな取組として「チャットGPTを越えてゆけ企画※」を企画中。
  ※第１弾：特化型GPTの検証　／　第２弾：Copilot365検証タスクフォース

- **生成AIの概要**：既に活用していたビジネスチャット上で安全にChatGPTを利用できる「LoGoAIアシスタントbot版」を導入した。
- **導入に至った経緯**：業務効率化を目的としてDXを推進していた中でChatGPTが公開され、早急にボトムアップで導入を進めた。導入に対する首長・議員の反応は概ね良好であった。首長・議員は技術面のリスクを懸念していたが、安全な環境で利用できることを説明したことで円滑に進めることができた。迅速に取組めた要因として、担当職員が熱意をもって推進したことも挙げられる。
- **生成AIの活用内容**：「AI議事録＋ChatGPT」による各種議事録の要約や広報などの文書作成等、分野を問わず幅広く活用している。
- **生成AI活用促進の取組**：「チャットGPTを越えてゆけ企画」と題して、新たに２つの取組を実施する。
  ①大規模言語モデルに当別町の総合計画などの公開情報を参照させることで回答精度の向上を図る。
  ②有効に活用している人材を選抜したタスクフォースを設置し「Copilot for Microsoft 365」の検証を行うとともに、エバンジェリスト（伝道師）として事例を波及させる。
- **導入による業務改善効果**：
  ・導入前は議事録作成に２～３時間要していたが、導入後は30分ほどで済むようになったと実感している。庁内で一定の利用数があり議事録作成において業務効率化が図られた。
  ・ChatGPT実証期間中の庁内アンケートの結果、継続利用の意向が８割以上、生成AIへの期待は９割以上と高い状況となった。
- **導入における課題**：生成AIを全庁的に展開しているものの、積極的に利用している職員とそうでない職員に二極化していることが課題である。利用率向上のアプローチとして、説明会の実施など有効事例紹介の発信機会を設け、上手く活用できていない職員向けに継続して機運醸成施策を展開し解決を目指している。
- **今後の生成AI利用の展望**：ChatGPTだけに囚われず、生成AIの急速な変化に柔軟に対応していくため、生成AI全般の研究・検討を継続して実施。効率化し空いた時間を住民との対話や新たな施策の挑戦などに活用し、住民サービス向上を最終目標として取組を進める。

当別町「チャットGPTを越えてゆけ企画」イメージ



出所）「チャットGPTを越えてゆけ企画」（当別町、2024年）

スケジュール

- 2022年12月　：導入検討の開始
- 2023年　5月　：職員向け生成AI勉強会の開催
- 2023年　6月　：当別町生成AI利用ガイドラインの作成
- 2023年　7月～9月：ChatGPTの実証実験の実施
  （職員説明会・利活用研修会・週刊マガジン創刊・プロンプト共有に最も注力）
- 2023年10月　：本格導入
- 2024年　3月　：「チャットGPTを越えてゆけ企画」の取組開始